

大阪府枚方市

テーマ: 全ての世代が様々なライフスタイルを実現し交流できるまち

市域面積：約6,512ha
人口：399,690人 (R3.1時点)

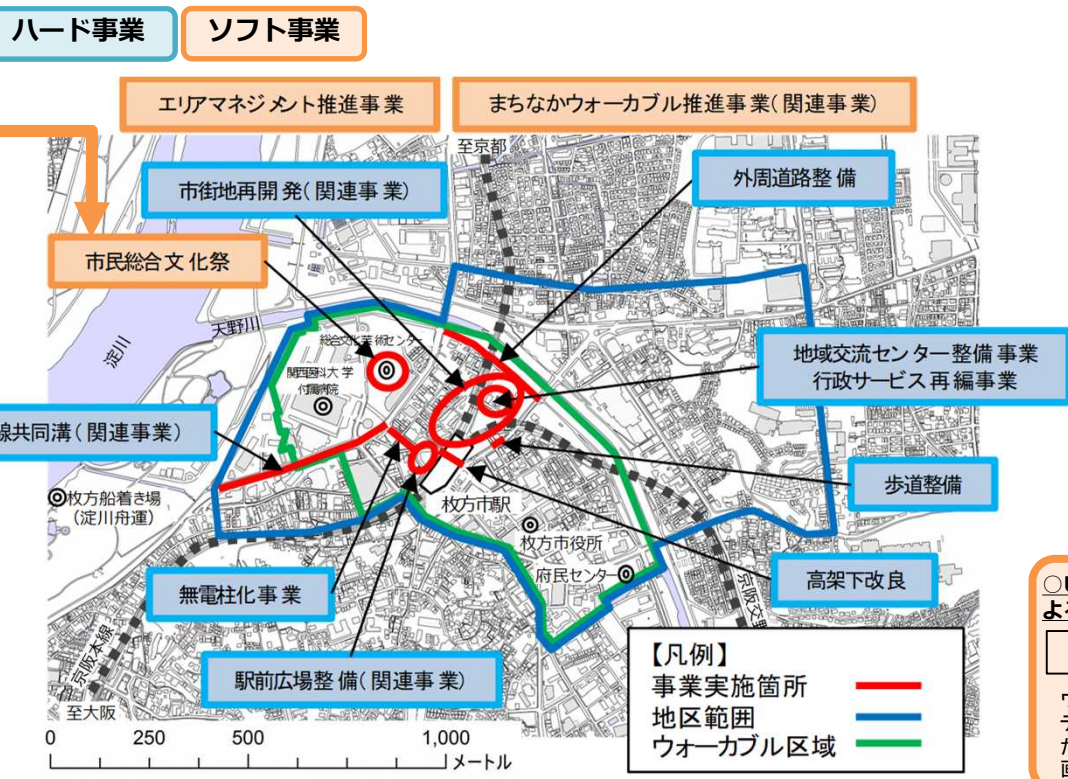
【立地適正化計画】
平成29年3月公表（都市機能誘導区域）
平成29年3月公表（居住誘導区域）
【都市再生整備計画（滞在快適性等向上区域）】
令和3年3月公表

○ まちなか推進事業を実施する産官学と連携しポストコロナ時代を踏まえたまちの課題解決につながるワークショップの開催や包括連携協定を締結しているUR都市機構など様々な事業者と連携を行いつつ、市民総合文化祭の開催に合わせ施設前広場等のオープンスペースを活用し芸術を基盤とした多様な主体による交流を活性化し賑わいを創りだす。

○公園緑地の活用
総合文化芸術センターで実施する「（仮称）市民総合文化祭」の開催とあわせて、施設前広場等のオープンスペースを活用し、ミニコンサートや体験会などを実施。世代間やジャンルを超えた多様な主体による交流が活性化し、さらなる集客と賑わいを創出。

○街路空間の活用
枚方市駅前線の無電柱化、枚方藤阪線の歩道整備、外周道路の整備を実施することで、枚方市駅から周辺施設への動線となる安全でゆとりある歩行空間を創出し、歩行者の回遊性の向上を図る。駅周辺という好立地においてゆとりある街路空間を創出。

○道路改良及びバスルート再編
枚方市駅前広場の再整備に合わせ高架下道路を改良し、バス運行ルートを再編。駅周辺の渋滞緩和や路線バスの定時性確保、利便性の向上を図る。



○官民連携まちなか推進事業
枚方HUB協議会(エリアプラットフォーム)を設立し、令和3年度の官民連携まちなか推進事業に応募。産官学による人・まち・情報が連携・融合・交流する拠点づくりに取り組む。
スタートアップ支援、社会人講座、ポストコロナ時代も踏まえたまちの課題解決につながるワークショップの開催等に取り組む。

地方自治体	枚方市(関係部署) 枚方市駅周辺地区市街地再開発組合
民間事業者	京阪HD(株) 京阪電気鉄道(株) 株式会社morondo
大学	摂南大学 関西医科大学 枚方信用金庫
金融	三井住友信託銀行(株) 三井住友銀行

構成メンバー(予定)

○UR都市機構との包括連携協定による取組

UR都市機構	枚方市
--------	-----

ウォーカブルシティの実現に向けた実証実験の企画検討等

包括連携協定に基づく協働

公共空間活用など、実証実験の場の提供

目標設定

誘導施設の利用者数
(従前値：令和元年)
84,423人/年
(目標値：令和7年)
100,370人/年

市民との共催事業回数
(従前値：令和元年)
9回/年
(目標値：令和7年)
15回/年

渋滞長の減少
(従前値：令和元年)
93m
(目標値：令和7年)
43m

人身事故件数の減少
(従前値：令和元年)
63件
(目標値：令和7年)
47件